



17. 8. 22



猛暑の中、'17 総会・LIC 合発・11回コンサートに向けてレッスン続く！

8月18・20日

- 8月のお盆の時期、各地でいろんな行事や催しが行われている中、昴は18日・20日と続けてレッスンが行われました。
- 8月18日(金) 18:00～20:30、佃さんの体操・千秋さんのヴォイストレーニングのあと、伊藤副指揮者の指揮で2部オープニング曲「歓びのナーダム」を、続けて、「会場のみなさまと共に」歌う「あの青い空のように」「上を向いて歩こう」「見上げてごらん夜の星を」の3曲を、当日の会場ステージでの立ち位置や歌い方、司会進行役や会場の方々との交流等をイメージした説明を踏まえ、曲を作り上げることとなりました。引き続き、本並先生の指揮で、「ヴォルガの歌」「ルスカエポーリエ」をレッスンし、休憩を挟んで、「仕事の歌」で今日の熱いレッスンは終了しました。ピアノ伴奏は森二三さん。出席者は全35名でした。



2部オープニングのイメージ

- ・ピアニストが先に舞台に出て、「歓びのナーダム」の出だしを弾き出します。それに合わせて、団員がT1/T2とBR/BSに分かれて左右の袖からばらばらに出ていて歌う形を整えます。
- ・「歓びのナーダム」は明るく元気な声で！気張った声でなく、拡げた声で、響かせて！
- 「ナーダムウだ ナーダームだ モンゴオルのなあ一つは ナーダムゥーにもおえるよ ホッホー」：3拍目の装飾音を必ず入れること。2拍目も入れができる人は入れて！そして遅れないで！「ホッホー」：声を広げるだけで、声きばらないで！「むねは」：「むね」の音低いがしっかり出して、「は」は響きだけで良し！
- 「おどるよー ナアダムゥ」：「よー」で声ひろげて、「ナアダムゥ」：でしっかりと！
- ・引き続き、司会と進行役のリードのもと、「会場のみなさんと共に」3曲歌います。「あの空のよ

うに」は4番まで。3部に分かれるところは、各パート歌って下さい。「歌詞カード」をプログラムの中に挟みます。それも見ながら、会場のみなさんが歌いやすい雰囲気づくり役も兼ねてイメージしてください。



□8月20日(日)14:00~17:00、コンサート1部の定例レッスンが開催されました。佃さんの体操・千秋さんのヴォイストレーニングのあと、本並先生の指揮で、「君死にたまふことなかれ」を1時間にわたってレッスンしました。この曲のすべてに対して、詳細なフレーズ毎、パート毎の復唱を繰り返し、曖昧な音程や言葉の表現を正し、リズム・詞の表現・音の長さを合わせるべく、暗譜直前の、楽譜を見ながら確認し、指揮棒をしっかりと見ながら歌う段階へ入ってきました。引き続き「想像力」「忘れっぽい人に」も、各パートがしっかりと歌えるように、丁寧なレッスンが進められました。まだ、音程や言葉をしっかりと覚えていない部分が“おとなしい・自信のない・あいまいな“表現となり、訴える力がない！濁った・描わない言葉として聞きづらい状態。早くしっかりと覚えて心に届く歌に！この2曲は“表現過多！”でも良いくらいの声で歌おうと指揮者は注文を出しました。

休憩・報告を挟んで、引き続き、伊藤副指揮者の指揮で、「降りつむ」「街を返せ」の2曲を約45分にわたってのレッスンが行われました。この2曲は「2014年全国祭典みやぎ」で銀賞を受賞した記念すべき曲。東日本大震災の被災地支援の心を込めて歌いました。いまだ健在な曲目。その想いをこの2曲に込めて、ステージに上げるべく、歌に集中しました。

ピアノ伴奏は西應静さん。出席者は全38名でした。(内1名の新入団員を含む)

第7回団内コンサートのリハーサルが行われました！

8月13日(日)

出演者23名(ソロ18名、デュエット1組2名、尺八演奏1名とピアノ演奏2名(森二三さん・西應静さん)。プラス「パート別演奏」(T1パート・T2パート・BR/BSパート)が27日(日)ステージに立ちます。13日はソロとデュエットの歌い手が午前と午後に各13分の時間割り当てで事前のリハーサルを行いました。(右の写真は「前線にも春が来た」デュエットでうたう仲谷・中谷さんのリハーサル風景)



○新入団員紹介

加藤邦昭さん

新しい仲間が加わりました！大歓迎です！！

昭和25年生まれ。労働基準監督署勤務で永年頑張ってこられました。此花区在住。趣味は旅行・社交ダンス・短歌。総会にも参加されます。昂のホームページを見て入団を考えられたとのことです。(広報部冥利です)

昂第17回総会の開催について 日時：8月26日(土)～27日(日)

1日目：26日(土) 新大阪ココプラザ美術工房に 13時45分集合

昂第17回総会 14:00から開始。

新大阪ユースにて 5時からシャワー・6時夕食・7時から懇親会
タオル、洗面具、パジャマは持参のこと。

2日目：27日(日) 強化レッスン 9:00～ 新大阪ココプラザ美術工房
団内コンサート 13:00～ "

配布した総会資料(議案書)必携。事前に目を通しておいてください。第11回昂コンサートを成功させることと共に、来年以降のコンサートや昂の活動をどうするか？も検討しましょう。

□沖縄の人々の「辺野古新基地建設反対」の闘いに想いを寄せて！



〒905-0011 名護市字宮里 447-20 丸平第2アパート 102号 TEL0980-54-8555 FAX0980-54-8556 ヒメル nago.kyodocigipro.ocn.ne.jp
郵便番号記号番号 01710-0-166221 加入者名・新基地建設反対名護共同センター 2017.8.13(日) 第141号

新基地建設反対名護共同センターニュース

猛暑の中 県民大会に4万5千人



「翁長知事を支え、辺野古に新基地を造らせない」

辺野古に新基地を造らせないオール沖縄県民会議主催で12日、「翁長知事を支え、辺野古に新基地を造らせない県民大会が那覇市内で開かれ、猛暑の中4万5千人が参加。新基地建設やオスプレイを押し付ける日米両政府への県民の熱い怒りと、勝つまであきらめない「不屈性」を改めて示しました。

大会ではオール沖縄会議の共同代表などが挨拶。闘闘の沖縄選出国会議員などが紹介されました。福嶽進名護市長が「知事を支え、陸にも新基地は絶対に造らせない」と表明。翁長雄志知事は「工事差し止めの訴訟を起

こしたが、時機を見て埋め立ての「巡回」も必ずやります」と力強く発言し

大きな歓声に包まれました。参加者全員でパネルを掲げアピールしました。(写真中央は福嶽市長、右端は翁長知事)

オスプレイ墜落事故に抗議し、普天間基地
早期閉鎖・撤去を要求する特別決議を採択

「米軍が最も恐れた男」那覇市で公開—長蛇の列に



「佐古忠彦監督のドキュメンタリー映画『米軍が最も恐れた男』」が、全国に先立つて那覇市の映画劇場で12日から公開されました。初日午前中は、10時の上映から30分以上前から数百人の長蛇の列ができ、多くの人が入場前から拍手。上映後はさらに大歓声が沸騰。佐古監督が立った映画をつるにあたっての思いなどを語って会場の共感を説いていました。最後に客席に入り記念撮影を撮りました。(前列中央が佐古監督)